

(第三種郵便物認可)

温泉街 新たな魅力発見

土湯で再生可能エネツアー

発電所見学や川遊び



バイナリー発電所を見学する参加者

福島市土湯温泉町で開発が進む地熱(バイナリー)発電、水力発電の仕組みなどを学ぶ「再生可能エネルギー体験ツアー」は八月一日から二十三日まで、同町内で開かれ、同温泉に宿泊した親子連れを中心に計約二百人が温泉街の新たな事業に理解を深めた。

NPO土湯温泉観光まちづくり協議会が県の地域資源活用による温泉街魅力アップ事業と日本エコツーリズム協会のグッドエコツアー

の認定を受けて企画した。

一回のツアーは二日間の日程で、参加者は土湯温泉源泉に整備中のバイナリー発電所や町内を流れる東鴉川(ひがしからすがわ)に今年五月に稼働した小水力発電所を見学した。温泉たまご作りや地熱で育てたミラクルフルーツの試食、川遊びなどを体験した。

このうち最終回の二十二、二十三の両日のツアーには十三人が参加し、土湯温泉の豊かな自然をエネルギー資源として有効活用する取り組みについて学んだ。